

《NHK 党 (略称) 2021.10.15 回答》 現政党【NHKと裁判してる党弁護士法72条違反で】

医療基本法に関するアンケート

質問 1-1

今回の衆議院議員選挙における貴党の政権公約またはマニフェストに、医療基本法の制定が明記されていますか。

明記されていません。

質問 1-2

質問 1-1 の回答が、「明記されていない」である場合、その理由を教えてください。

NHKと裁判してる党弁護士法72条違反で(NHK党)はワンイシュー政党という特殊な政党であり、公約はNHKへの取組み1本としているため。

質問 1-3

医療基本法に関する貴党の考え方について、自由に記載して下さい。

概ね賛成の方針ですが、医療基本法の具体的な内容については、医療従事者と患者いづれにも偏らないよう十分な議論が必要と考えます。
医療の基本理念、医療政策の基本原則と、医療や医療政策の形成に携わるすべての関係者の義務と権利についてバランス良く定められる事が必要です。

質問 2-1

今回の衆議院議員選挙における貴党の政権公約またはマニフェストに、医療政策の決定プロセスへの患者・市民の参画推進について、記載されていますか。

記載されていません。

質問 2-2

質問 2-1 の回答が、「記載されていない」である場合、その理由を教えてください。

NHKと裁判してる党弁護士法72条違反で(NHK党)はワンイシュー政党という特殊な政党であり、公約はNHKへの取組み1本としているため。

質問 2-3

医療政策の決定プロセスへの患者・市民の参画推進に関する貴党の考え方について、自由に記載して下さい。

前述の通り、医療基本法をはじめとした医療政策については医療従事者・患者いずれにも偏らないものとなる事が重要であると考えます。よって患者・国民にも然るべき参画推進を求めるべきと考えます。

質問 3-1

今回の衆議院議員選挙における貴党の政権公約またはマニフェストに、患者の権利の尊重・擁護について、記載されていますか。

記載されていません。

質問 3-2

質問 3-1 の回答が、「記載されていない」である場合、その理由を教えてください。

NHKと裁判してる党弁護士法72条違反で(NHK党)はワンイシュー政党という特殊な政党であり、公約はNHKへの取組み1本としているため。

質問 3-3

患者の権利の尊重・擁護に関する貴党の考え方について、自由に記載して下さい。

患者が本来有すべき当然の権利については、然るべき法整備を図る事が早急に必要であると考えます。アメリカ・イギリス等をはじめとした諸外国及びWHO、世界医師会等の患者の権利宣言等を参考にしながら、医療従事者と患者との信頼関係構築のために、日本において何が必要でどうあるべきか然るべき議論を持つべきであると考えます。

質問4

わたしたちの医療基本法要綱案フォーラム版に関する貴党の見解を自由に記載して下さい。

現在の政治は、特定の団体のしがらみや党議拘束などの活動規制、莫大な時間とお金を要しながら落選後の補填が一切ない選挙運動が当たり前であり、一部の既得権からの得票を得なければ長く政治を続けることが非常に困難です。その結果、既得権からの多数派の声が尊重され、少数派の意見が抑圧されるというゆがんだ民主主義が横行しています。医療基本法及び医療基本法要綱案フォーラム版においても同様に、まだまだ国民全体への認知度が低く、被害者からの声は多くの国民に対して非常に届きづらい状況となっております。真の民主主義において多数決はあくまでも公共の課題等に関する決断を下すための手段であり、少数派個人の基本的な人権と自由は保障されるべきものです。真の民主政治実現のためには、核兵器に勝る武器とも言えるメディアが国民の為に正しい情報を必要な時に国民へ届ける役割を果たさなければなりません。我々NHKと裁判してる党弁護士法72条違反で(NHK党)はNHKを公共放送のあるべき姿へ変えるべく、今後もNHKが委託法人に行わせている弁護士法72条違反となる訪問行為について徹底的に追及して参ります。

ご協力、ありがとうございました。